



〃 ようこそ〃

## 新駐日教皇大使



新駐日教皇大使、ウイリアム・アクリン・カルー大司教が11月18日来日。カルー大司教は、カナダ・ニューファンドランドのセント・ジョンズ生まれ。一九四七年6月14日、司祭叙階。オタワ大学に学び、哲学(神学、教会法の博士)、同时に一九六九年までバチカン国務省勤務。一九七〇年1月4日司教に祝聖される。一九七〇年~七四年まで駐ルヴァンダ、アルジリ共和国教皇大使、一九七四年キプロス共和国教皇大使兼駐エルサレムおよびパレスチナ教皇使節となり、今年8月30日、駐日大使に任命された。

カルー大使は、6月23日在任中急逝したマリオ・ピオ・ガスパリ大使の後任で、第五代駐日大使である。

## 司教の足どり

9月～59年1月

9月

2日 尹師米泊。  
4日(日)河原町ミサ。

5日 神学生合同合宿(尾鷲)。

6日 熊野三山の二ヶ所見学。

8日 聖母中高生代表来訪。

9日 責任役員会。M師再入院。

11日(日)高野ミサ。

12日 母見舞(聖マルチン病院)。

14日 M師見舞。オペラロマーナ來訪。

U師訪問。

16日 司祭評常任委。

17日 東西靈性交流実行委(花園)。

18日(日) C B Sサンデー(ND小)。

19日 教区付邦人司祭例会。宣教師父兄來訪(マリスト関係)。

20日 カロン・ヨゼフ会管区長と面談。

M師見舞。

トライビスト大院長ら来訪。

特別聖体奉仕者再研修会。

久居堅信ミサ。

10月	1日 平和旬間実行委反省会。	28日 司祭評定例会。
2日(日) 河原町ミサ。司教司祭信徒の懇談会。	27日 女子カルメル会訪問。幕参。	26日 コリアンC代表と面談。
3日 「部き連」設立総会(大阪)。	7日 東西靈性交流団の歓迎会(堺布)。	9日(日) 右集いの特別ミサ(西院)。
10日(日) 教区付邦人司祭黙想会。	14日 司祭評常任委。教区内男女管区長会議(女子MM)。	14日 CLC「福音と社会」學習会。
11日 山科30周年堅信ミサ。幼きイエズス会創立者100年祭(仁川)。	15日 トライビスト大院長と面談。	15日 東西靈性交流団と永平寺で僧堂生活体験。
12日 M師女子学院20周年(四日市)。	16日(日) 東西靈性交流団と永平寺で	16日(日) 洛星創立記念ミサ。東福寺。
13日 京都南部三園長と面談。教理センター理事会。	17日 M師と面談。	17日 北白川堅信ミサ。N大院長泊。
14日 M師見舞。オペラロマーナ來訪。	18日(日) 東西靈性交流団と永平寺で	18日(日) 霊性交流団、司教座へ来訪。
15日 U師訪問。	19日 墓碑立記念ミサ。	19日(日) グアダルベ管区長、及びニボン
16日 司祭評常任委。	20日(日) 東西靈性交流団建築契約。	20日(日) 鎌倉骨堂建築契約。
17日 東西靈性交流団と永平寺で	21日(日) 霊性交流団、司教座へ来訪。	21日(日) 霊性交流団、司教座へ来訪。
18日(日) 東西靈性交流団と永平寺で	22日(日) 北白川堅信ミサ。N大院長泊。	22日(日) 北白川堅信ミサ。N大院長泊。
19日(日) 東西靈性交流団と永平寺で	23日(日) 霊性交流団建築契約。	23日(日) 霊性交流団建築契約。
20日(日) 東西靈性交流団と永平寺で	24日(日) 衣笠納骨堂建築契約。	24日(日) 衣笠納骨堂建築契約。
21日(日) 東西靈性交流団と永平寺で	25日(日) 京都北部カトリック学園起人会。	25日(日) 京都北部カトリック学園起人会。
22日(日) 東西靈性交流団と永平寺で	26日(日) 三重研宗所建築契約。	26日(日) 三重研宗所建築契約。
23日(日) 東西靈性交流団と永平寺で	27日(日) 巡礼团來訪(坂出より)。	27日(日) 巡礼团來訪(坂出より)。
24日(日) 東西靈性交流団と永平寺で	28日(日) 東西靈性交流シンポジウム(開	28日(日) 東西靈性交流シンポジウム(開



## 『フィリピンで作られた 可愛いタオルを買って下さい』

マニラで働くシスター小野島から、「スマムで沢山の人々が仕事もなく飢えています。生計を立てるために手芸をしたタオルを買って下さい」とのこと。

美しい模様入りで、釘にかけられます。  
1枚￥300 御協力下さい。

御入用の方は京都カトリック教理センターまでお申し出下さい。☎075 761 9095

あなたの良き隣人として  
カトリック御葬儀・貨物一式(仏式可)

## 聖ヨゼフ葬典社

パウロ 杉下 安雄  
(西院教会所属)

京都市右京区西院寺町23  
電話(075) 312-7829  
(075) 771-7577

製菓材料・舶来食品  
和洋酒・修道院製クッキー  
ミサ用ブドー酒

タキノ

〒604 京都市中京区錦小路通鳥丸東入  
電話(221) 0976-7

## 第二回 東西靈性交流

### 一カトリック観想と禅の出会い

10月5日から11月5日迄、

ドイツのオットーリアン大修

道院長ノドケル・ウォルフ

師を団長とする六ヶ国を代

表する17名の修道者達が来

日、宝塚默想の家に入り、

禅堂に入る心がまえをした

のち、岡山の曹源寺を手は

じめに、永平寺、京都の六

つの禅寺等で摂心を禅僧と

同じ様に行い、11月31日、

京都関西セミナーハウスに

おいて、シンポジウムを行

い、貴重な体験を終えて5

日無事帰国した。

尚京都は、今回の招きの

中心になつたのが花園大学

と禪文化研究所でもあり、

又日本の仏教の中心として、

いわばこの交流の中心とな

なつたと言えよう。

それに御承知の通り、田中司教は、諸

宗教対話委員会の日本の担当司教でもあ

り、この交流会の重要な役割を演じられ

た事は言うまでもない。

近來、西洋において、東洋における深

い靈性が顧えりみられる様になつた。そ

のには、ただ外見の動作のみにとらわ

れ、時には思わず眉をひそめたくなる様

な受けとめ方をしている人もいるであろ

う。

しかし、何か合理的な世界にとりこに

された人々の心は、東洋的な神秘にあこ

がれ、それを求めようとしている事も事

実である。

さてこの交流は、四年前(一九七九年)

東西靈性交流の企画が、ヨーロッパ、日

本双方から出され、日本の仏教界から、

およそ20名の禅宗の僧侶方がヨーロッパ

のカトリック修道院に三日間滞在して、

その生活を体験され、修道院生活と僧堂

生活とは不思議な程共通点が多い、とい

う感想も持たれた。

しかし出来るだけ同じ様な体験を望ん

だ事から、他の修業僧と同じ、日課と撰

心を行つた。さすが彼らにとって一番の

苦痛はなれない坐禅にあつた様で、例え

ば、ピロ師は次の様にいつている「きよ

うの聖書朗読(ロマII・29-36)は不従

順についての憐れみの精神こそ、坐禅の

時の言葉だと思つた。坐禅によつて私は

足と背中の痛みのとりこになつた。痛み

が少しましになつた時、自分の中に不従

順が湧き起つた。わたしにとつて痛い

経験だつたが、神からの賜物と受けた

(シンポジウムの中の感想から「カト新

聞二」)

この体験を通して、何を感じたかにつ

いて、カトリック新聞11月13日号に記載

されているので、ここでは一々紹介しな

いが、彼らが、この短かい体験を通じて

ではあつても非常に深く学ぶものがあつ

た事は事実の様である。

雲水達の眞面さ、純粹な緊張感、深い静

寂、その中でより絶対的なものに近づこ

うとする姿、又個人主義に流れやすい西

欧の修道院生活にあって、共同生活とそ

のに深い感銘と反省を憶えたようでもある。

苛酷とも言えるほどの厳しい生活が課せ

られている事から、そのまゝ、西欧の修道

者を受け入れるのを危ぶむべきもあつた。

達が敬けんにあずかつてくれた事も深い

感銘を与えた様である。

河野太通禪福僧道師家は、「私達は宗教

の違う人達を迎えたと言うより、絶対の

ものへ近づこうとする道の仲間を得たと

云う感じだ」と述べられている。

私達は諸宗教との対話やキリスト教間の

対話の中で、一種の妥協や、折衷主義を

おそれるものであるが、しかし又他方、

その諸宗教の中にある実に光輝く宝を見

失つてはならないだろう。互いに自分

の中にややもすれば見失いがちな何かを

お互いの修道生活(つまり神探求、絶対

的なものへの探求の生活)の中に隠され

た宝を少しずつ見出し始める事が出来た

よい機会を、この靈性交流によって得ら

れたのではないか。

よりよき対話や交流は、その出会い方

を学ぶのではなく、その出会いそのものを

学ぶものでなければならぬだろう。だ

から上すべりな修業方法だけを取り入れ

る事で満足していくはならないだろう。

又他方、よりよき交流や対話をするため

には、自分自身を知り、認め、本来の自

分自身のあるべき姿を実現しておく必要

がある。そこには自分が反省し改めるべ

き點もあるが、自分の中にある良きも

のを知る必要がある。東西交流は他者の

中にある良いものを見吸収するとともに、

自分自身の中にあるすばらしいものを見

直し、それを成長させてくれるものであ

る事を忘れてはなるまい。



京都新聞より転載



### ●司祭の移動

宇治教会主任 ブライス・西村師

(ロマンゼルス聖フランシスコザベリオ教会)

伏見教会主任 ゲラルド・サレミンク師  
ルカ・ホルステインギ師  
(北海道・北見教会)

衣笠教会主任 ルイス・ウォルケン師  
(宇治教会)

司教館 ラウル・ニボン師  
(福島・会津若松教会)

滋賀働く人の家 滝野正三郎師  
(伏見教会)

### ●司祭評議会定例会議報告

11月7日(月)、カトリック会館にて司祭評議会定例会議が開かれ、田中司教出席

のものに、以下の事項が審議された。  
一、難民定住促進に対する教区としての役割について。

教区として、一千万円の基金を作成を目標に働きかけていくことになった。

一、司祭・修道士研修会について。  
毎夏開かれており、今年で三回目。

一、司祭・修道士懇親会について。  
毎年1月4日に行われている。

一、聖香油のミサについて。  
来年の聖木曜日は4月19日にあたるが、聖香油のミサを3月29日夕方7時から行うことになった。

### ●衣笠墓苑納骨堂起工式

かねてより計画中であった京都教区の

納骨堂の起工式が10月27日(木)午前10時30分より村上真理雄師と衣笠教会のウォル

ケン師の共同司式を行われた。

### 二、司祭叙階式について。

正式決定ではないが、来年3月21日に、大塚助祭の司祭叙階式が予定されている。

### 一、平和句間にについて。

今年は8月14日に平和の日が行われ、多数の方が参加された。ひきつづき平和學習グループの勉強会は行われている。

司祭評議会事務局長

滝野正三郎

### ●'84平和の日(8月12日)の準備に向けて協力のお願い

### ●'84平和の日(8月12日)の準備に向けて協力のお願い

来年の平和の日に向けて京都教区として年明け早々から準備に入って行く必要があります。その為の実行委員会を作る

ことから始めていく時期になりました。皆様の中からメンバーを募集しますので、自薦他薦いづれでも立候補してください。さる方は、京都教区事務所にご連絡ください。〆切は'84年1月末日です。

'84平和の日実行委員募集  
自薦他薦を問わず立候補  
〆切  
'84年1月末日

京都教区ビジョン推進連絡協議会

昭和59年

11月7日(月)、カトリック会館にて司祭評議会定例会議が開かれ、田中司教出席

のものに、以下の事項が審議された。  
一、難民定住促進に対する教区としての役割について。

教区として、一千万円の基金を作成を目標に働きかけていくことになった。

一、司祭・修道士研修会について。  
毎夏開かれており、今年で三回目。

一、司祭・修道士懇親会について。  
毎年1月4日に行われている。

一、聖香油のミサについて。  
来年の聖木曜日は4月19日にあたるが、聖香油のミサを3月29日夕方7時から行うことになった。

### ●平和学習会

第8回 12月17日(土) PM 6時～8時  
1月28日(土) PM 6時～8時

所 京都カトリック会館 5階会議室  
主催 ピジョン連絡協議会 平和學習グループ

3月25日(金) 助祭叙階 (河原町教会出身)  
4月10日(日) 司祭叙階 (宇治カルメン会)  
5月29日(日) 西大和教会五周年  
6月19日(日) ノートルダム教育修道女会  
創立二十五〇年祭

6月19日(日) ノートルダム大学銀祝  
8月15日(月) 衣笠教会献堂二十五周年  
10月16日(日) 山科教会三〇周年  
10月16日(日) 幼きイエス修道会

6月19日(日) 衣笠教会三〇周年  
10月16日(日) 山科教会三〇周年  
10月17日(月) 創立者百年祭 (仁川)  
10月17日(月) メリノール女子学院  
11月20日(日) 津教会のキリストン史料館  
開館

2月12日(日) 「福音的靈性と  
社会へのかかわりかた」  
講師 R・アビト師

1月15日(日) 「日米関係とアジア問題」  
(仮題) 講師 山田経三師

### ◆今年度主要祝典◆

3月21日(祝) 助祭叙階 大塚助祭 (河原町教会出身)

3月25日(金) 助祭叙階 (宇治カルメン会)

4月10日(日) 司祭叙階 (御受難会)

5月29日(日) 西大和教会五周年

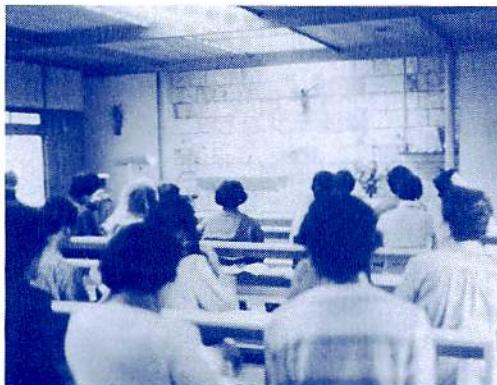
6月19日(日) ノートルダム教育修道女会  
創立二十五〇年祭

6月19日(日) ノートルダム大学銀祝  
8月15日(月) 衣笠教会献堂二十五周年  
10月16日(日) 山科教会三〇周年  
10月17日(月) 創立者百年祭 (仁川)  
10月17日(月) メリノール女子学院  
11月20日(日) 津教会のキリストン史料館  
開館

1月15日(日) 「日米関係とアジア問題」  
(仮題) 講師 山田経三師

前号、8月14日、平和の集いの報告書  
の中に、ある施設の信仰の自由が妨げられているかの様な発言は、誤解を招く表現でした。私達としては、出来るだけこの自由が守られている事を信じます。

(編集長・村上)



南信協婦人部だより  
「御所教会への巡礼を終えて」



## 日本26聖人殉教

### 「長崎への道」巡礼

◇安芸神父様と共に第5回巡礼(第2陣)

12月11日(日)午前9時 阪急梅田集合

コース: 関西主教区天王寺教会→天王寺駅まで15km徒歩

○第13回巡礼(第1陣)

59年1月15日(日)午前10時

山陽線竜野駅出口前集合

コース: 奈良・相生教会→赤穂教会まで18km

◇安芸神父様と共に第6回巡礼(第2陣)

2月11日(日)午前9時 阪急梅田中央

口前西助役室前、又は国鉄天王寺駅中央西出口前9時30分でもよい。

コース: 天王寺→阿倍野教会→勝野まで15km徒歩巡礼

★イエズス会 井上、安芸神父同行。

いずれも御ミサがあります。

★雨天決行(雪も可)、一般参加歓迎

\*本配布中 無料(送料300円)

お問合せ先 Tel 078-(871)4161

六甲学院内本田周司氏まで

### 「インドシナ難民定住援助基金」

### 制度設立について

田中司教は去る11月8日、難民基金制度設立の意向を明らかにし、その協力を願う文書を教区内全信徒に向けて発表した。その骨子は次の通りである。

現在二千五百名のインドシナ難民が、既に日本に定住し、日本国民と同じ待遇を受けられる様になっているが、まだ千八百名の人々が難民キャンプに居り、うちカリタスジャパン関係の19のキャンプ

10月13日(木)、54名の婦人会員が御所カトリック教会へ巡礼に出かけました。吉野杉で作られた御聖堂で一同お祈りをし、その後、信者さんが敷地内の老人ホーム、ベトナム難民ハウスを案内して下さいました。(ベトナムから第一陣として御所に来て生れたベビー第一号も三才のやんちゃ盛りになっていました)親睦をかねての一日、好天に恵まれ楽しいひとときを過ごすことが出来ました。

神に感謝。

に600名の方々が居られ、奈良の御所には32名うち23名が日本定住を希望している。奈良地区ではカーティ師を中心にしてずいぶん努力して来られたが、奈良地区だけでなく、教区ビジョンの線に沿つて、京都教区の問題として、もっと具体的に取りくまねばならないと考える。そうした意味で、司祭評議会にもかけた上、今後2年間に千万円を目標にして「インドシナ難民定住援助基金」を作つていただきたいと考える。そのためには、教区のみなさんに協力を願い、例えクリスマス献金、募金、バザーとか、それぞの場でよいと思う方法で協力してほしい。

又定住後、就職後の問題解決にも、それぞれ専門家の助けが必要になつてくる。法律に詳しい方、カウンセラー、医師等多くの方々の協力も必要となつてくるだろう。その様な方々を紹介していただきたい。

難民が政府関係の難民センター外から直接定住する時には、今のところ政府の援助が得られない不平等さがあり、それを得られる様、政府に要請中である。何分政府関係の施設では全難民を収容する場が足りず、政府外の施設にたよらざるを得ない不合理がある様である。

尚詳しいお問い合わせは、教区事務所の齊木師又は御所キャンプのカーティ師シスター近藤にお願いします。募金の送り先は教区事務所にその旨を記してお願いする事である。御協力下さい。

### アジアと女性解放

Asian Women's Liberation

女性差別・民族抑圧からの解放をめざして/

### 特集——侵略と“性”

—韓国・沖縄・フィリピン・タイ—

アジア女たちの会

定価500円

お問い合わせ先 京都カトリックセントラル  
Tel 075-752-0057 \*

### マリア・クララはいま

—日本人にとっての「フィリピン」—

マリア・クララとはフィリピン建国の英雄とされているホセ・リサールの小説に登場する女性の名前である。リサールは彼女にたくしてフィリピンのものを表現した。そのためマリア・クララという名は、フィリピンの人々にとってフィリピンそのものを象徴するものとなっている。

日本カトリック正義と平和協議会  
フィリピン委員会編著  
定価500円

### 新刊紹介

### 贋いの特別聖年

教皇さまの特別聖年の教書を基に贋いの秘義とその恵みの適応について解りやすく説明された指針書です。壮年会、婦人会、青年会、修道会などの研修資料に、又御家庭で御利用下さい。

浜尾文郎著

新書刊 定価490円・洋200円  
聖パウロ修道会 中央出版社  
〒160 東京都新宿区若葉1-5



今日はテレビの人も出演「心の灯」、「愛のウオーカーソン」録画はじまり  
(撮る方も大変、肩がこります)



開会式  
出発前に祝福をいただいて



この歩みこそ尊く。それを見守る青年達のまなざしも又。



受け付けどうもありがとう

## 第5回 ウオーカーソン とき 11月3日

韓国ラザロ村のために

### ウォーカーソンご協力ありがとうございました

第1回 第2回 第3回 第4回 第5回  
1979年 1980年 1981年 1982年 1983年

金額 50万円 150万円 325万円 360万円

人数 100名 210名 377名 500名

スンサー 700名 2,000名 2,900名 3,800名

送り先  
日本企画  
アフリカ社会  
フィリピン  
ハリス  
モーリタニア  
ラザロ村



ちょっとおつかれ? がんばってね。



よく参加してくれましたね。



打合せ中。「ながながうまくいっている様ですよ」



お腹が減つては、一步も…

模運亀さん、あなた方は?



青年達、いろんな人の手に  
支えられ?



到着のあとは楽しいゲーム。  
高校生のお兄さんお姉さんと共に。



ゴール。ありがとう、お疲れさま。



終って河原で一遊び、つめたくないよ。

第五回ウオーカーソンは、ラザロ村長 李師も参加。参加者名簿登録455名、  
スポンサー用に用意した六千枚のカード  
も十分にいきわたらぬ程多大な人々の参  
加のうち、天も亦、朗らに微笑みかけ、  
無事終了、神に感謝、人々に感謝。  
心の灯のスタッフが、参加、愛のウオ  
ーカーソンとして去る11月19日・20日両  
日テレビ放映された。11月22日現在、  
260名分、292万集まっている。



京都教区でも「みことばを書く」書道コンテストと朗読コンテストの第2回目が、京都カトリック会館6階ホールにおいて行われました。

聖書に親しみ、聖書を生活の中に入れゆくため、そして聖書のみことばを深く味わうことができるようになると、昨年の「聖書週間」に初めての試みとして、京都教区、京都カトリック教理センター主催のもとに行われました。この二つのコンテストには教区外からの参加もあり、今年も成果をおさめることができました。

例年11月は全国的に「聖書週間」が行かれています。

京都教区でも「みことばを書く」書道

コンテストと朗読コンテストの第2回目が、京都カトリック会館6階ホールにおいて行われました。

聖書に親しみ、聖書を生活の中に入れゆくため、そして聖書のみことばを深く味わうことができるようになると、昨年の「聖書週間」に初めての試みとして、京都教区、京都カトリック教理センター主催のもとに行われました。この二つのコンテストには教区外からの参加もあり、今年も成果をおさめることができました。

### 朗読コンテスト

聖書朗読コンテストは11月23日(祝)に、成人の部(高校生以上)11名、児童の部(小・中学生)9名で行われ、最年少の小学校3年生から60代の方まで、遠くは千葉県松戸からも参加者がありました。

まず児童の部から始まりましたが、いずれも相当練習をしてこられたようです。結果は、大人の部は司教賞を始め、金銀、銅、努力賞が各1名ずつ、児童の部は司教賞、金賞が各1名、銀、銅賞が2名、努力賞が3名におくられました。

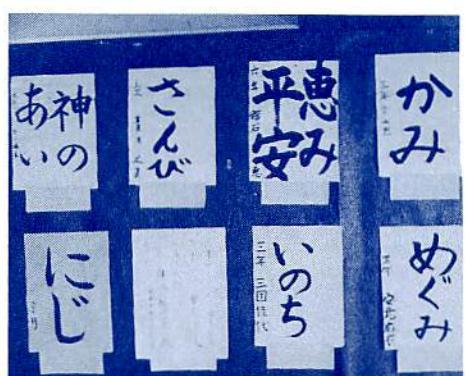


### みことばを書く 書道展

11月23日(祝)から27日(日)まで、京都カトリック会館6階ホールにおいて、「みことば書道展」が催されました。

児童の部(小・中学生)及び成人の部(高校生以上)と応募作品が寄せられ、これらの作品は3人の書道教師によって審査され、その中から28名が推薦、受賞されました。中にはインターネットショナル・スクールからの応募もありました。又、沢山の御応募ありがとうございました。

信仰の心を持って書かれた「みことば」は本当にすばらしく、一つ一つの作品は生き生きとしていて心に伝わるものがありました。みことばを書き、眺め、心の内に味わうことができるなら、そこ



にすばらしい実りがあるのではないでしょか。

聖書に親しみ、読むこと、書にしてみることによって生活の中に「みことば」を深く味わっていただきたいと願います。



<p>エスコラビオス修道会 による男子のみの 中・高等学校</p> <p>中学入学検定日 1月22日(日) 8時40分集合 9時試験開始</p> <p>高校入学検定日 2月4日(日) 8時30分集合 9時試験開始</p> <p>三重県四日市追分1-9-34 <b>海星中・高等学校</b> TEL 0593(45)0036</p>	<p><b>啓光学園(男子)</b></p> <p>中学校 約135名 入学試験日 3月4日(日)</p> <p>高等学校 360名 サビエンス・コース、クリア・コース 入学試験日 2月15日(水) 16日(木)</p> <p>〒573 枚方市禁野本町1丁目13-21 TEL 0720(48)0521</p>	<p><b>子どもたちに カトリック教育を!</b></p>  <p><b>クリスマス おめでとう ございます</b></p> 
<p><b>メリノール女子学院</b> 中・高等学校</p> <p>入学試験日 中学 1月15日(日) 高校 2月6日(月)</p> <p>〒510-12 三重県四日市市平尾町2800 TEL (0593) 26-0067</p>	<p><b>セントヨゼフ 女子学園 中・高等学校</b></p> <p>入学試験日 中学 1月16日(日) 高校 2月10日(金)</p> <p>三重県津市大字半田1330 TEL (0592) 27-6465</p>	
<p><b>学校法人 聖母女学院</b></p> <p><b>聖母女学院短期大学</b></p> <p><b>聖母学院 幼稚園</b></p> <p><b>同 小学校</b></p>	<p><b>日星高等学校</b></p> <p>★推せん制・奨学制・寮完備★ キリストの教えに基づいた教育 宗教性・国際性・福祉性に生きる 普通科 160名 英語コース 20名 衛生看護科 45名 入学試験日 2月16日(木) 〒624 舞鶴市上安久381番地 TEL (0773) 75-0452</p>	<p><b>暁星女子高等学校</b></p> <p>—1984 生徒募集— 70余年の伝統をもつ府北部唯一の カトリック校。</p> <p>★推薦制・奨学制(進学Aコース), 寮完備★ ○見学随時 1. 募集人員 普通科170名(女子) 〔Aコース(国、公、私立四年制大学進学)135名 Bコース(短大進学、就職) 135名〕 2. 出願期間 59年2月6日㈪-2月14日㈬ 3. 試験日 59年2月17日(金) 4. 試験場 京都私学会館(亀岡以南の京都南部) 本校会場(京都府北部) 5. 試験科目 Aコース…推奨書、作文 Bコース…国語、数学、英語 ◇本校の特色…国際性豊かな女性を育成する。 ○基礎学力の充実と進路のためこまやかな指導 ○女性としての教養、しつけ教育の徹底 ○人間の生き方、人生へのかかわりを学ぶ宗教教育 ◇寮完備…人間形成の場としての生活指導の徹底 ○希望者全員対応可能な主要教科の学習指導の実効 ○外人教師による実用英会話の実施等</p>
<p>同 中学校</p> <p>同 高等学校</p> <p>詳細は下記にお問合せ下さい</p> <p>〒612 京都市伏見区深草田谷町1 TEL 075(641) 0507(学院) 075(643) 6781(短大)</p>	<p><b>学校法人聖カタリナ学園</b> <b>聖家族女子高等学校</b></p> <p>普通科 衛生看護科 推薦入学制度あります。</p> <p>〒622 京都府船井郡園部町美園町1-78 TEL (07716) 2-0163</p>	<p>〒626 京都府宮津市柳縄手303 TEL 07722-2-2560</p>
<p><b>学校法人</b></p> <p><b>ノートルダム女学院</b></p> <p>女子大学 左京区下鴨南野々神町1番地 高等学校 左京区鹿ヶ谷桜谷町110番地 中学校 同 上 小学校 左京区下鴨南野々神町1番地2</p>	<p>TEL 781-1173 TEL 771-0570 TEL 701-7171</p>	

社会と共に歩む教会《アンケート報告》

昭和五十八年十月十五日 現在

昨年10月(82号)12月(83号)の二回にわたってみなさんから寄せられたものを御報告いたしましたが、今回、其後報告いたいたもの前二回に記載出来なかつたものをここに報告いたしました。報告に関わる事、又其他、社会と共に歩む教会の具体化の歩みと思われるものがありましたらすすんで記事をお送り下さい。みなさんの御協力を感謝します。



## 幼きイエズス修道女会

創立者メール・レーヌ・アンチエ逝去百周年

レーヌ・アンティエ

ショファイの幼きイエズス修道女会著者



幼きイエズス会（日本本部 仁川）は、京都においては、信愛幼稚園、衣笠の聖嬰会を経営し、明治21年以来、京都で活動している。女子修道会としては最も古いものである。尚、京都へ同修道会を招く様はからつたのは、あの京都の大恩人、ビリヨン師に外ならない。

さて去る10月16日、仁川修道院（日本管区本部）において、創立者、レーヌ・アンチエ逝去百周年を祝つた。

一八〇一年11月19日、フランフ中南部、オーベルニュー県、ローソン村に4人兄弟の末娘として生まれ、一八五九年9月、ショファイユに於いて幼きイエズス会を創立（同会は別名、ショファイユの幼きイエズス会とも云われる）、彼女はまずウルスラ会の門をたき、更に一八一九年ピュイの幼きイエズス教育会に入会、教育者としての素質をいかんなく發揮した。

一八八三年10月28日、メール・アンチエは、本部修道院で逝去。享年80才。同会では逝去百周年を仁川本部修道院で、安田、田中、古屋、深堀司教式のもと10月16日百周年を祝つた。

後シヨファイユに送られて、そこで教育事業に従事。シヨファイユの司教は、ビュイの教育会から独立した正式な修道会設立を思いたちメール・レーヌに話を持ちかけた。多くの妨害と反対にあつた時、当時すでに有名なアルスの聖司祭、ヴィアンナーに相談し、その力強い勧めにより、アルスに近いシヨファイユに一八五六新修道会を創立。時に57才。

新修道会は教育と病者への奉仕に従事する修道会として、貧しい子供達、苦しむ病人の友としての奉獻の生活がはじまつたのである。

あの長崎のかくれキリシタン発見をしたブチイジヤン師（司教）の要請により、日本に宣教師として使わされる事を要請され、一八七七年5月、シスターイジユースチーム他3名のシスター達を日本に送りだした。時に75才。同年7月、ビリヨン師が、神戸にこの四人のシスターを迎えて、神戸で捨て児の養育事業、居留外人女子の教育に従事しはじめた。京都には先程のべた通りである。

「正直に、お気の毒だと云う思いです。世の中には自分の幸せしか目に入らず、他の人の気持ちなんかどうでもいい人が何と多い事でしょう。でも貴女は、良いお子さんに囲まれていますネ！そ

いのちの電話  
「その子は世の光……」



してそれはその障害のあるお子さんが居られるからこそではないでしょか？そのお子さんこそご家族の「光」となっているのではありませんか？

「光ですか？」「はい。そのお子さんこそ、貴女の心の鏡、ご家族の愛の源となつていませんか？」

「そうですね、あの子が居るから私は人を心から憎むことが出来ません。あの子が居るからいつも主人と心が一致しています。あの子がいるから、私の子供達の素晴らしさがわかります。」

ああ、その様に考えたら、何かしら又だから、障害児の親から先に頭を下げて挨拶するのが当たり前』と云う人があつたり街を歩いていると、ばい菌が歩いているかの様な目つきで見たり、わざと遠まわりして、私達のそばを通らないようにしたりする人達もありますね。どうして私達ばかりがと云う、ひねくれた気持をもつてしまい、今さと疲れているのだと思います。

勿論、暖い言葉をかけて下さる方も沢山ありますから。今日は身のふるえる様な思いだつたのですが、娘達がその障害の弟を散歩に連れ出してくれましたので、たまらなくなつて電話しました。弟の面倒を良く見ててくれる娘二人は日本一いい子だと自満出来ます。』

『正直に、お気の毒だと云う思いです。世の中には自分の幸せしか目に入らず、他の人の気持ちなんかどうでもいい人が何と多い事でしょう。でも貴女は、良いお子さんに囲まれていますネ！そ

（富雄教会 吉田 悅子）

新聞記者になつて十二年。つくづく因果な商売だと思います。なぜといってこの商売、『疑うことが仕事』というようなところがあるものだからです。

人の話を幼な子のように真に受けて記事を書き、甘いと笑われたり、あるいは、別の立場の人からみれば事実とは程遠いものになつていてヒドイ目に会つたり：なんて経験を、新聞記者なら誰でも一度や二度（私などは根が素直なものですから一再ならず）持つっているものです。

自分がヒドイ目に会うのが厭だからといふこともあります、なるべく事実に近づこうとすれば、どうしても『疑つてみる』という作業を怠ることができないのです。

この作業は、政治や経済、社会事件などの生臭い取材の場合だけ必要なのではなく、美談や心暖まる話といった場合でも同様に、いやそれ以上に必要なのですから、いやはや因果な商売というほかありません。

一方で心から理解しようと、共感さえおぼえながら聞き、一方で待てよ、と疑いを持ちながり聞く。

この辺のかねあいが微妙で、修業をするのですが、ともあれマスコミにかかる一員として、コミュニケーション

の基礎たるべき事実の追及のため（なんといささか面映ゆいのではあります）が疑つてみると天邪鬼的精神をいよいよ逞ましゅうしなければと思っているのです。

コミュニケーションというのは、いろいろな場で行われるでしょう。例えば国

の新聞記者になつて十二年。つくづく因果な商売だと思います。なぜといってこの商売、『疑うことが仕事』というようなところがあるものだからです。

人の話を幼な子のように真に受けて記事を書き、甘いと笑われたり、あるいは、別の立場の人からみれば事実とは程遠いものになつていてヒドイ目に会つたり：なんて経験を、新聞記者なら誰でも一度や二度（私などは根が素直なものですから一再ならず）持つっているものです。

自分がヒドイ目に会うのが厭だからといふこともあります、なるべく事実に近づこうとすれば、どうしても『疑つてみる』という作業を怠ることができないのです。

この作業は、政治や経済、社会事件などの生臭い取材の場合だけ必要なのではなく、美談や心暖まる話といった場合でも同様に、いやそれ以上に必要なのですから、いやはや因果な商売というほかありません。



## コミュニケーションへの提言

### 天邪鬼コミュニケーションへの提言



際間で、企業間で、地域で、学校で、家庭で、友人間で、そして教会の中でも。

その際に必要なこと、近ごろ私はつくづく思うのですが、それは、とことん事実を見すえてかかるという心つもりではなかるかと思つてゐます。

初期の聖人、聖バシリウスは「戦争は正義に反する行為である」と教えたが、聖アウグスチヌスは「正しい意図を持つてなされる戦争は正当であり、神はそれを嘉したまう」と戦争の正当化に道を開いたと指摘されています。

（サンケイ新聞東京経済部記者 矢島誠司）

国際間のコミュニケーションは、一方の国の常識だけで、ましてや純粋培養された日本人の安っぽいヒューマニズムだけでは、不理解こそ広がれ、相互理解などは生れないでしょう。

お互いの国の歴史、よいことも悪いことも、すべての事実をしっかりと見え、との重要さを教えてくれた本です。ソ連の秘密情報機関の実態を、あらゆる証言や記録からあき出した本ですが、ソ連という共産主義国家は、自分らの利益のために、いかに手段を選ばないか、何十万、何百万という人間をいかに平然と殺してきたか、現代の日本国内でも、いかに想像を絶したスペイ、謀略活動が行われているかが空恐しいほどにまで暴露されています。

私たちのコミュニケーションとは、このようないもそろつて防衛や平和を理由にして戦争を始めたか、平和の使徒たるべきキリスト教会も、いかに深く戦争に関わり、それを正当化する試みをしてきたか、が事実をもつて冷徹に語られています。

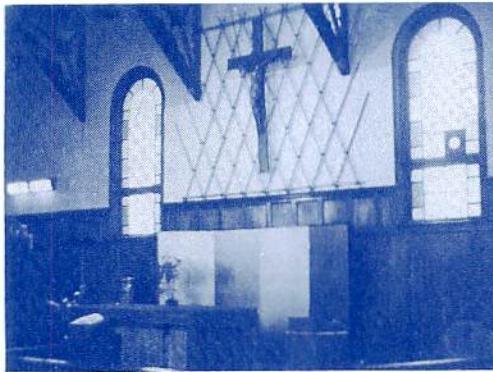
ほとんど目をそむけたくなるような「事実」ばかりです。新約聖書では「汝の敵を愛し、汝らを迫害する者のために祈れ」とありますが、旧約聖書は戦いを鼓舞する言葉に満ちています。

初期の聖人、聖バシリウスは「戦争は正義に反する行為である」と教えたが、聖アウグスチヌスは「正しい意図を持つてなされる戦争は正当であり、神はそれを嘉したまう」と戦争の正当化に道を開いたと指摘されています。

★ ..... ★

## ★小教区の頁★

## 伏見教会



十六年にメリノール  
会によってたてられ  
ました。よく隣の聖  
母学院と一緒にされ  
る方がありますが、

学院は明治四十三年  
に陸軍省によって設  
計され完成し以後旧  
第十六師団司令部と

なり戦後学院に払い  
下げられたのです。

この教会の建った  
当時の人々はほとん  
ど見うけず、その歴史はあまり知られて  
いないようです。

三代前の松本三朗主任神父さま当时、  
祭壇を開んで御ミサをと信徒によって仮  
祭壇を作り中央横に設けて大祝日を除い

伏見教会は昭和二  
十六年にメリノール

て統していました。

今回フランス教会の夢として、日本

二十六聖人が歩いた道か、記念すべき場  
所かに、四〇〇年前の歴史を復活させる

ため京都でフランス教会の家を開きたい。

そして、その家を中心に聖フランス教会  
とその精神を国籍、性別、宗教を問わず

に共に分かつことができるような人を歓  
迎し、神の國の建設のために働いて、司  
牧的に全力を尽していきたい。又典礼や

祈りを生活の土台にし、他宗教とくに仏  
教徒との交流も持ちたい。そして信徒と  
共に夢を実現することができるよう力

をつくり前進したい。マイホーム的な教  
会でなくイエズスさまが望まれる共同体、  
社会の中で社会と共に歩いている共同体  
として歩き続けたい。そして、平和とよ  
ろこびの道具として働くことを決意して、  
花の国オランダ出身のガーランド神父さま  
が着任された。着任早々の仕事としてミ  
サ本来の目的が理解され、おなじ祭壇を

植樹的活動として、ボーキ・スカウト  
及びガール・スカウト活動、オモチャライ  
ブラー、ピノキオ会への場所提供、ヤ

ングエマウス援助のための廃品回収、夏  
のワークキャンプによる岡山の長島愛生  
園での奉仕活動、インドのボーワーズ・タ  
ウンの子供達のための里親制度としての  
援助活動も行っています。

地域の人達に親まれているのが鐘楼よ  
り流れる鐘の音、何処にもないメロ

教会は単なる日曜日の信者の中だけで  
なく、存在している地域でキリストの身  
体としての神の家族、神の民なのです。  
したがって私達一人一人の信仰

の存在は教会をつくりあげるため  
に、かけがえのない価があります。  
教会は自分自身のために存在する  
のでなく、その地域でキリストの  
御言葉と行動をあらわす「しるし」です。  
その為に教会内外の人々に対しても愛  
のまじわりによって、それを具体的に証  
しとし、実行し、また奉仕によって神の

開むなら本格的にと、仮祭壇も撤去し正

面の十字架及び本祭壇を共に中央横に移  
し完全に配置替をしたのが今夏でした。

聖堂そのものを建て直すのではなく、椅  
子の並び替などでお金も使わずに模様替  
するのですから問題はありません。それ

をカバーするためにも金屏風に盆栽を置  
き日本の趣向をこらしました。でも古  
い信者、仮祭壇からなじんだ人など配置  
替に関してはいろいろありました。

そんな伏見教会ですが、社会に対しても  
積極的な働きとして、ボーキ・スカウト  
及びガール・スカウト活動、オモチャライ  
ブラー、ピノキオ会への場所提供、ヤ

ングエマウス援助のための廃品回収、夏  
のワークキャンプによる岡山の長島愛生  
園での奉仕活動、インドのボーワーズ・タ  
ウンの子供達のための里親制度としての  
援助活動も行っています。

デイーが平日三回、日曜四回と変えて鳴  
り響きます。時報として役割を果たすこ  
とはもちろんマニアの方が録音に見えたり、  
近くの病院の方へも流れ患者さんからよ  
ろこばれています。

(山本)



## 共同体と その刷新

国への到来を実証しなければなりません。  
その為に自己刷新、また共同体刷新の  
道はいろいろありますが、その中で具体

一二、聖書の御言葉を聞くことによるキリ  
ストとの出会い。

三、教会内外の弱い立場に置かれている  
人々に対しての私、また私達の具体的な  
態度は?

私たち教会としては、教会内の兄弟姉  
妹に対しても、また、教会外の人々に対  
しても、この三つの役割をもつと徹底的  
に追求すれば共同体の刷新に大きな刺激  
を与えるに違いありません。

ゲラルド・サレミンク



信仰と正義



ギーを、生活のエネルギーを感じる。しかし、フィリピンの貧しさはここにもあらわれている。あのエンジンの多くは、日本などの先進国で中古として処分されたものを修理しなおして使っているという。また、あるジープのタイヤにはまったく溝がなかつた。そこまでりへらされたタイヤでも人々は気にせず乗っていてた。

フリーピンの印象はジープだ。人を満載し、大きなエンジン音をたてて、混みあつた道路をつゝ走る。運転手は大声で道端の人々に呼びかけている。多分、乗車をすすめたりしているのだろう。こんなところにも、何とも言えないエネル

ある人が言うんですよ、人は二つの耳と  
目をもつていて、口は一つしか持たない  
のに、どうして口ばかり先になるんだろ  
うって。又ある人は言うんですけどね、言  
葉より心だ、以心伝心、語らずとも通じ  
る。でもね、それも話せる人のせいな  
く、

を中心に秘めて受ける事だと思いますか。祈る、乗る事から來ているそうですよ。でも私達の祈りは、お願い事ばかりしていませんか。感謝する、有難いと書きます。何でも当

軍拡競争、第三世界とのかかわり……。何も構えて考える必要はない。我々の頭のレベルで考え、我々にできることをやればいいのだ。――

この私達のモグラ社会にも、話  
し合いの場が、よく持たれる様  
になりました。しかし何分、未  
熟な私どもの事、みなさんにお  
聞かせ出来る様な事はないんで  
すが。対話には、相手の目の高  
さ、耳の高さまで下りて  
もらわないことには出来  
ないそうですので、そのところ、

出来事や言の端(葉)はかり  
気にしおり

事(言)を観てこそ  
心知るなれ

心知るなれ

寛大な心をお示しくださる様お願  
いします。私達はまだまだ、話し  
合いと言うものに慣れしておりませ  
ん。話下さいにて、話してござ

之言也。王氏之說，亦一派也。惠此竊吾言者。

自分の意見ばかり述べて、他人の意見を  
話し合いでなく話し合はせたり  
を信じてはなりません。職場附書類の

徳は中庸にありの「中」、これはあ  
てる・的と射る事から来る。大変むずかし  
い事。

正義を求める姿勢のうちに決して忘れてはならないこと——それは常に信仰にたちもどることである。信仰から出発したものでない限り、どのような活動をしようと、生きたものとはなりえない。

人の話し合いでなく、話し放したてたり自分の意見ばかり述べて、他人の意見を譲るに専念の念をもつて聞こうとはしません。何か対話の大切さについて多くの人々が語つておられる様ですが、これは聞く事から始まると言われておりますし

余談で長くなりましたが。以下ちょっとと私達の無学さと博学さを披露しましよう。  
愛する」と言う字をどう見ます。私は心

A decorative vertical illustration of a stylized plant or branch with leaves and flowers, rendered in blue ink.

ペルーってどんな所でしょう。

ペルーは大きく三つの地域に分けられます。(1)海岸地域、(2)山岳地域、(3)ジャングル、この三つの地域です。私たちの会は海岸と山岳地帯を担当しています。

歴史的背景からくるペルーの人たちの問題を宣教者としてどのようにみておられますか。

「この地は、長い間スペインの植民地であった為その影響を受け、新しい教育を受ける機会に恵まれず、今だに伝統や古い文化の中に生きています。」

「ペルーでは公立学校の宗教の時間の担当と司牧の仕事をしています。学校では午前、午後、夜学と三部授業で中には結婚して子供のいる生徒もあります。」



## 社会と共に歩む人物記(II)

### ペルーはどんなところですか

シスター・クリスティナ  
(カロンデレッドの聖ヨゼフ修道会)

司牧の方は、隣国チリにから「カテキスター・ファミリア」という、非常によく出来たプログラムが入ってきています。これは「家族のキリスト教教育」というものを第一目的として、ペルー全土に広がっています。特徴として云えることは、スペインの植民地時代の影響から自己の喪失、個の喪失が強くあつたようで、自己の中の自信がなく、自分の考えを伝達するコミュニケーションの方法が養われていないのです。とても残念なことです。」

「ペルーでの経験を通じて修道者たちに何を話されたいと思われますか。」

「一つ感じる事は、聖書や信仰を非常に観念的に捉えているということ、詩的な面での洞察は素晴らしい、美しいものとして表現されていると思いますが、具体的に地域社会の中で、キリスト者としてどういう立場で生きられるのかというこ

とをはつきりさせるべきだと思います。世界の2~3以上が貧困と飢えに苦しんでいます。貧困は清貧とは違います。第三世界では「死」を意味しています。一番早く対応出来るのは経済的な援助です。現実には「パン」を与えるということで、助かるかも知れませんが将来どうのを考えた時に、非常に難しい問題

「確かに価値はあると思います。しかしその国に適応するまでには働きながら一年半はかかります。確かに意義はあり、宣教地の人々は大歓迎です。しかし、適応出来ない人もあり、非常に難しい面もあります。」

「今後行かれるとすれば、自分の仕事に根が生えるまで行ってみたいと思っておられますか。」

「今までの仕事を続けること、もう少し、自分自身をそこに深めていきたいと思っています。」

「キリストが言われたように「私が送られたように、私はあなたを送る」という「送られた」というふうに考えていいですね。送った者が「帰つて来い」と言われた時にはいつでも帰る。自分の

根っ子を引いても帰つて来るだけの冷静さがほしいと言われるわけですか。」

「その時点では本当の生き方というものがありますから。どこに生きても、どこにいても状況によつて異りますが、根本的には対人間ですからそろそろるべきだと思います。」

「のかお聞かせ下さい。」

「いるということからわかるようです。」

「確かに価値はあると思います。しかし

時書くべき事を書かし給うべし。又何か聞いた様な文句です。聖靈は口に働きても、ペン先には働くぞ。いやそんな事ありません。聖書が書かれた時、ペン先に働くではありませんか。これら聖書と雑文を一緒にするな!ごめん!」



時報が対話の手段なら、おう「書く者も読む者も、投稿者は「互いに心を開けあも編集者も」

■何を書かんかと思い煩う事勿れ。その

時書くべき事を書かし給うべし。又何か聞いた様な文句です。聖靈は口に働きても、ペン先には働くぞ。いやそんな

事ありません。聖書が書かれた時、ペン先に働くではありませんか。これら聖

書と雑文と一緒にするな!ごめん!」

■錦織りなす京の山々、もみじの紅もあ

ざやかなこの頃、早、時報はクリスマス号。最近遅がちとは司教の呟き。もう少しはよしてもらえませんかはミスター

印刷のきまり文句。で、できるだけ早く皆様のお手元に」とK姉。もう直ぐ師も走る。

(Y)

■母親が、子どもの前で針仕事をしている姿を見せたことがなかつたら、子どもは大きくなつても針仕事をしません。ま

ず見本があつて、自分もやつてみたくなります。またそれは、物をたいせつ

にするという教育につながつてきます。

(坂)

■今月は主の御降誕祭、子供達はサンタクロースを待ち望んでいます。宣教師は私達にすばらしい愛の賜物をお与え

下さいました。私達も愛する事、理解すること、協力し助けあう、特に小さな人

たちに愛のプレゼントを!

(K)